



◆古典を読もう◆日本文化と思想と発見

●受講期間 2ヵ月

●受講料 15,400円

マルチデバイス対応

■テキスト1冊（Webテキストも閲覧可）■添削レポート2回（Web提出可）

ふだん「難しくて近寄りにくい」と感じている古典を平易な解説で学ぶ
日本の文化と思想を築いてきた歴史上の人物たちの

「ナマの声」に接することができる

ライフ・アンド・ワークのさまざまな場面に活用できる

「実践知」を身につけることができる

※ テキストはインターネットで閲覧できます。Web提出には「Microsoft Word」が必要です。



●第1単元

日本人は人生を どのように考えてきたか

- ・人生の不完全燃焼を戒める —『徒然草』吉田兼好
- ・最高の紀行文に俳諧の心を学ぶ —『おくのほそ道』松尾芭蕉
- ・「豊かさとは何か」を再確認する —『雨月物語』上田秋成
- ・和製論語と称された江戸時代の修養書 —『葉隠』山本常朝
- ・日本人のルーツを西欧に伝えた名著 —『代表的日本人』内村鑑三
- ・武士道に息づく清潔白な精神 —『武士道』新渡戸稲造
- ・後に続く者たちに「思い」を託す —『留魂録』吉田松陰
- ・健康に生きるための指南書 —『養生訓』貝原益軒
- ・実学によって新しい文明を創造する —『学問のすゝめ』福沢諭吉
- ・アメリカ人が見た日本文化の真髄 —『菊と刀』ルース・ベネディクト

●第2単元

たくましい思想を 「自分磨き」に活用する

- ・一生を戦いに明け暮れるか、道を求めるか —『五輪書』宮本武蔵
- ・腹をくくって堂々と生きる覚悟 —『海舟座談』勝海舟
- ・新しい世代の台頭を快く迎える —『謀叛論』徳富健次郎（蘆花）
- ・「実業界の父」が説いたビジネスの王道 —『論語と算盤』渋沢栄一
- ・「職業とは何か」を若手とともに考える —『私の個人主義』夏目漱石
- ・リーダーの流儀を学ぶわが国最高の啓発書 —『努力論』幸田露伴
- ・なぜ若者には厳しいしつけが必要なのか —『父・こんなこと』幸田文
- ・「無私の精神」とはどう振る舞うことか —『無私の精神』小林秀雄
- ・頭角を現す「異端児」の思想 —『日本文化私観』坂口安吾
- ・日々の仕事を題材にして自分を語る —『一握の砂』石川啄木

オンラインでもオフラインでも学習できる！（すべての学習方法に対応）

※カリキュラム・講座内容などは改訂や変更になる場合があります。

一般社団法人日本監督士協会